



# 大 幼



令和6年度  
園長だより No.3  
令和6年6月28日

## 年中・年長の親子弁当試食会を終えて

6月12日(水)親子弁当試食会を開きました。多くの保護者が進んでお手伝いしてくれたおかげで、集金から片付けまで大変スムーズに執り行うことができました。当日の食べっぷりを確認したところ、小松菜の和え物を残していた人が一番多く、続いてご飯、わずかですがウインナーやコロッケもありました。感想を聞くと、「がんばって野菜を食べた」や「お弁当の量が足りなかった」等成果や課題をいただくことができました。

今後は、業者との最終打合せや集金の仕方等を整理し、9月18日(水)から毎週水曜日を業者弁当の日として提供したいと考えています。今年度は、年中・年長さんへの提供のみの予定ですが、来年度以降は年少さんについても検討を重ねていく予定です。



## 心温まる祖父母ふれあいデー



年長の祖父母ふれあいデーが本日ありました。今年も保護者の協力を得ながら、温もりのある会になったと思います。天気は、生憎の雨模様でしたが、心が晴れ晴れする関りが目立ちました。

感想には「子どもたちがのびのびと素直に成長している姿に会えて、嬉しく思った」や「来年は卒園なので、来られないのが残念です」といったふれあいの良さを実感された感想ばかりでした。

祖父母との関りがよほど嬉しかったのでしょ、最後は涙を流してお礼を言う子もいました。ポツと心が温くなりました。

## 研究会を通して共に学ぶ



6月8日(土)R6 保育研究協議会を九州各地からの参加者を招いて開催しました。年度始めの研究会ということで、関心が高く、100名を超える保育者等の参加がありました。参加者からは、PTAの方が笑顔で温かく迎えてくれたという感想を頂き、研究会を陰で支えてくれたことに感謝をしたところです。また今年度は、行政との連携開催の研修会等、年間300名を超える県内外の保育者が附属幼稚園で共に学ぶ研修会を予定しています。大分県のモデル園としての役割をしっかり果たし、取組を一步進めます。

研究会の参加者から、「初めて附属幼稚園に行かせていただきました。環境構成や先生方の笑顔や声掛けに刺激をいただきました。子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿が印象的でした。私も沢山の学びを活かして頑張ります」と綴られていました。附属幼稚園が大切にしている「主体的な遊び」が、それぞれの施設にあった形に工夫されて、当たり前の保育の取組として定着していくと感じています。

今後も附属幼稚園に集う多様な方と協働し、主体的な遊びの真価をさらに求めていきたいと考えていますので、あらゆる方向からのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。